

詳細はこちら

↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/study-abroad/o-event/527.html>

また6月14日には、第2弾として「韓国留学のすすめ」を開催し、協定校である韓国カトリック大学について紹介しました。

詳細はこちら

↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/study-abroad/o-event/614-1.html>

次回はオランダ（ゾイド大学）を予定しています！

★第3回東アジア山岳文化研究会が開催されました

山岳文化研究を進める韓国・中国・ベトナム・日本から研究者が集い、現状報告と意見交換を行う東アジア山岳文化研究会が2013年6月1～2日の2日間、本学山岳科学総合研究所の主催で開催されました。

初日は各国研究者の山岳をめぐる研究発表が、翌2日は、このたびユネスコの世界文化遺産への登録が決まった富士山と、葛飾北斎の「富嶽三十六景」を所蔵する山梨県立博物館等への現地見学会が行われました。

信州大学の留学生、人文学部のリュウ・タクブンさんと経済学部のヨカイヨウさんも、中国語の通訳担当者として活躍しました。

詳細はこちら

↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/topics/2013/06/-3-2.html>

■ □
□ お知らせ 信州大学国際同総会 タイ支部発足！

信州大学国際同窓会は2011年に設立され、北京、上海、ソウルに支部があり、4つ目の支部としてタイ支部を設立することとなりました。

つきましては、以下のとおりタイ支部設立総会を開催しますので、大勢の参加お待ちしております。大学時代の思い出、近況を語り合しましょう！

日 程：2013年7月6日（土）
時 間：18：00
場 所：SALADee (Bangkok)
会 費：1200～1300パーツ程度

詳しくはこちら

↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/alumni/reunion/post-197.html>

■ □
□ お知らせ 信州大学国際同総会（上海支部）開催！

国際同窓会上海支部を開催します。大勢の参加お待ちしております。大学時代の思い出、近況を語り合しましょう！

日 程：2013年7月6日（土）
時 間：18：00（現地集合）
場 所：過門香（長寧路 1018号 龍之夢購物中心8楼）
会 費：300元/人

詳しくはこちら

↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/aboutus/cat3144/post-196.html>

■ □
□ 信大NOW No. 81 のご案内

信州大学のニュース、歴史や人にまつわる記事、イベントや公開講座の紹介、研究者の研究内容など、信州大学が良くわかる広報誌「信大NOW」最新号の目次を紹介します。

<No. 81>

○前身校のひとつ、旧制松本高等学校の全人教育の伝統を誇りに

- 座談会 NOW Special issue
信州大学と「春寂寥（はるせきりょう）」
- 信州発！新しいモノサシ
次世代繊維ファイバー工学が描く未来
VOL.1 学問で、産業で、予測を超えた広がりを見せる次世代ファイバー
- 生地のはぎれ⇒織物⇒時計などの新製品へ
信州大学教育学部発 産×学×福祉連携
さきおりプロジェクト
- センパイの肖像 信大OB OG訪問
ネパール、キャシャール峰南リッジ初登攀
第21回ピオレドール賞受賞
登山家：花谷泰広さん 馬目弘仁さん

○TOPICS
信州大学と信州大学生生活協同組合が相互協力協定を締結

「環境人材育成に関する4大学単位互換協定調印式」が行われました

地域資源等を活用した産学連携による国際科学イノベーション拠点整備事業に採択

ナノカーボン技術を応用した放射性物質の効果的な除染材料の開発（ハイブリッド吸着剤の創出）発表と記者会見

信州大学信州地域技術メディカル展開センター（CSMIT）開所式典を挙行

○信大キャンパスの「樹」シリーズ⑫
アカマツ 南箕輪キャンパス

全文は信州大学の公式Webサイト上でデジタルパンフレットとして公開されていますので、ぜひご覧ください。↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/publication/#publication>

■□
□ スタッフ近況報告 片所 由生 先生（国際交流センター非常勤講師）

みなさん、こんにちは。

今年4月に非常勤講師になった片所由生（かたしよゆき）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

日本は今梅雨の季節で、すっきりしない天気が続いています。そんな中、先日娘の小学校の運動会がありました。運動会は日本の小学校の最大の行事です。小学生たちは1か月以上前から練習を始め、当日、家族や地域の人たちの前で成果を披露します。その経験は、大人になってからも、小学校時代の思い出として、多くの日本人の心に残っています。

その運動会がこの梅雨の時期に行われることに、「あれ？」と思う日本人は多いのではないのでしょうか。なぜなら、これまで運動会といえば、秋に行われるのが普通だったからです。私が小学校時代に歌った「運動会の歌」には「秋」という言葉が何度も出てきます。また、「日本全国酒飲み首頭」という歌（海外で年中行事の教材として使っていました…笑）では、「10月は運動会で酒が飲めるぞ～」と歌われています。10月といえば月見かと思いますが、それをさしおいて出てくるほど、運動会は日本人にとって最も身近な秋の行事ということになります。

そんな秋の恒例行事だった運動会が、なぜこの時期に開かれるようになったのか、私も不思議に思って周りの人たちに聞いてみました。その答えで多かったのは、秋に発生する台風の数が増えたから、という答えと、残暑が厳しくなり、熱中症で倒れる子どもが増えたから、という答えでした。ここ最近の気候の変化が、長い間続いていた行事の形を変えつつあるということでしょうか。事情があって変更になるのは仕方がないのですが、運動会が秋の風物詩でなくなるのは、少しさびしい気がします。

社会や環境の変化によって恒例行事の形も変わっていきます。今回の“梅雨時の運動会”は、そのことをしみじみと感じる出来事でした。みなさんの身近にも、そんな変わりつつある行事があるでしょうか。

■□
□ 生活ちょっとコラム ～ 運動してますか？～

みなさんは、ちゃんと運動してますか？ WHO（世界保健機関）によると、

